

発行者／青森県中小企業家同友会 〒030-0931 青森市平新田字森越 12-28-2F
TEL017(752)0171 FAX017(752)0170 URL/http://aomori.doyu.jp/ E-mail/info@aomori.doyu.jp



という決断力には、村井さんの芯の強さを感じました。

オフサイトミーティングによって社員の創造性、潜在能力を引き出すという考え方には、女性ならではのしなやかさを感じました。村井さんが経営する広島焼鳥店「炭焼雷」は予約の取れない人気店というのも納得です。

現在、コロナ禍においての経営は本当に大変だとおっしゃっていましたが、どこか困難をも楽しんでいるような村井さんのお話に多くの学びをいただきました。そして、このような時でもはつらつとした村井さんの明るさに、元気と勇気をいただきました。

「会社の困難を乗り越えるリーダー像」とは…村井さんこそが、まさにそのものでした。

(株)FPパートナー青森支社
八戸オフィス
田中 里華 氏

3月11日、女性部会第20回総会が、22名の参加でオンラインにて開催されました。今回の記念講演は、報告者に広島同友会から(株)キャピタルコーポレーションの村井由香氏をお迎えし、「全社一丸の『捨てる経営』で困難を克服する」と題して、講演されました。

〈参加感想文〉＝＝＝＝＝＝＝＝

「会社の困難を乗り越える

リーダー像」とは

女性部会第20回記念講演において、広島同友会女性部の村井由香さんに、ご講話

いただきました。リモートで画面越しの村井さんの印象は、題目にある「捨てる経営」という強い言葉のイメージとは裏腹に、大変やわらかい雰囲気のある素敵な女性でした。

専業主婦だった村井さんが、先代の急逝をきっかけに本格的に事業を引継ぐこととなり、幾多の困難に見舞われた事、他力本願で名ばかりと言われた社長だったところからどうやってこれまでやってきたのか、覚悟を決めて取り組んできたことを具体的にお話し下さいました。顧客・財務・社風を「捨てる」

八戸支部例会

経営理念わが社の実践

～食べる人本意、畑から届ける最高の贅沢～



◆報告者◆

(株)馬場園芸 (岩手同友会)

代表取締役 馬場 淳 氏

(2022/3/18 参加 26名)

★★★ 感想文 ☆☆☆

3月例会では、岩手県浄法寺町にある(株)馬場園芸・代表取締役の馬場淳さんの報告でした。200年以上続く農家の9代目で、町の人口は年々減少しており、地域を元気にしたい、安心して働ける場をつくりたいという強い想いをもち、馬場さんは今さまざまな行動をしています。

平成28年に経営指針を創る会を受講後、馬場さんは経営者としての覚悟が決まり、自分のビジョンが明確になりました。地域の為、社員の為、安心して働ける場を作るという想いが白い果実というホワイトアスパラを生み出します。世界で唯一雪の中から採れるホワイトアスパラはとても甘く、柔らかく、ジューシーな味わいで、社員みんなの想いが詰まっています。この様な味、想いが評価され、『にっぽんの宝物グランプリ』最強素材部門でグランプリを受賞します。馬場さんは喜びと次のステップへと進もうと思っていた矢先、コロナ禍という不運に見舞われます。ですが「逆境は乗り越えられるから与えられる、どんな逆境にも感謝して向き合う」とポジティブにとらえ、馬場さんはさらに行動します。

ホワイトアスパラを美味しく食べてもらえる様にと考え食べ方を動画にしてお客様にお伝えしたり、地元企業の社員食堂で実演販売や採れたての感動をお家で味わえる様にと作ったホワイトアスパラ栽培キットなどを生み出しました。

作り手である生産者は効率のいいように、早く育てて出荷するなど、自分本意の考え方ではなく、美味しさ、安心、安全、環境に優しく、動物に優しく、人に優しくと食べる人本意、お客さまの事を第一に考える事が大切だということを馬場さんから学びました。

記/(有)中村商会 専務取締役 中村 吉宏 氏

青森支部例会

世界を翔けるリンゴを夢みて



◆報告者◆

(株)マルジン・サンアップル
代表取締役社長

(株)甚八りんご農園 代表取締役

葛西 万博 氏 (津軽支部)

(2022/3/24 参加 32名)

★★★ 感想文 ☆☆☆

覚悟を決めた時 平川から世界へ広がる夢

葛西社長は大学卒業後、先代社長のお父様から後を継ぐなら修行しなさいといわれ、大阪の大手青果問屋へ勤務。朝4時30分の始業に、誰よりも早く4時には入社して店を開けるのが楽しみだったそうです。

創業者の孫として事業を受け継ごうという高い気概。そんな葛西さんを育み、見守られたご両親と創業者の暖かい思いを感じました。

経営指針を創る会で学んだことが大きなきっかけとなり、もともとロジカルに考えることが得意な葛西社長だと感じていましたが、そこに経営理念が確立し、進む方向の迷いが無くなったという言葉が響きました。といっても数年前からみると事業が進化しています。リンゴ農家とリンゴ消費の減少など将来へのリスク(外部環境の変化)を見据え、それに対して関係人口(離れたところに住みながら地域に関心を寄せ、多様なかたちで地域とつながっている人たち)で優秀な人と縁が繋がったこと。さらに青森県の農産物の輸出会社を創設、リンゴ農園まで始めたと聞いて仰天しました。まさしく理念から将来のビジョンを生み出しています。

幹が太いと枝葉はスクスク。優秀な人を引き寄せ、地域から世界へ広がるワクワクする絵。これがビジョンの可視化というお手本。まるで経営の物語を見るようです。そして根には創業者葛西甚八様の信条「勇気・決断・思いやり」。人に対する暖かさを感じ、本当に嬉しくなりました。

葛西社長、私たちに、夢に気づかせていただきありがとうございます。

記/(株)番地銘石 代表取締役 番地 常夫 氏

津軽支部例会

自社と地域の10年後を描く



◆報告者◆

(株)マルヤマ (上十三支部)

代表取締役 大和 英樹 氏

(2022/3/25 参加 29名)

★★★ 感想文 ☆☆☆

今回、津軽支部3月例会を受講して、率直に言うとうちにも思い当たる節があり、とても勉強になりました。

私は大和氏に初めてお会いし、ご挨拶させていただきましたが、とても気さくにお話させていただきました。

大和氏が現在の会社に入社されて、様々な苦労や、創意工夫をして、現在の状況に至る点等、今の自分にも、きっと生かしていける事例等が多々あり、今後の参考になる貴重なお話ばかりだったと思います。

講義の中でも仰っていましたが、経営理念や10年ビジョン、中・長期の目標を立てる事は、頭ではわかっている、実際にそれを掲げていく事は慣れなければ中々難しい。しかしそれがとても大事だという事も、改めて教えていただいたと思います。

私は、様々な事を新しく取り入れていくのは好きなので、今回の講義を今後にも生かしていけるよう、頑張っていきたいと思います。

記/(株)工藤工務所 取締役 工藤 晋一郎 氏



4/14 2022年度支部会員会議 参加20名



4/11 八戸支部4月幹事会



第19期 経営指針を創る会 スタートしました!!

今期は受講生2名の参加となります。

第19期はこれまでの講座カリキュラムを一新し、より実効性の高い内容を目指して構成しています。その為、前年度までのカリキュラムに加え、第0講という形でオリエンテーションからスタートする事となりました。

前年度は新型コロナウイルスの影響を受け、オンラインを駆使しながらの受講となりました。今年度は収束の兆しが見えない中ですが、「with コロナ時代」の新しい生活スタイルを取り入れながら、従来通りの運営を進めていきたいと計画しています。

2 月理事会報告 於:Zoom 2022.2.2(水)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2021 年度重点活動方針
- 青森同友会 3 カ年ビジョン(2020～2022)

2)報告事項

- 青森同友会の各種全県事業と全国行事について
- 第 18 期「経営指針を創る会」運営状況について
- 全県委員長会議について
- 支部長会議について

3)審議事項

- 青森同友会の新型コロナへの対策について
- 新春例会について
- 青森同友会第 25 回定時総会について
- 年度会勢目標に向けての取り組みについて
- 各支部、委員会からの報告

入退会 会員数 398 名/入会 1 社 退会 3 社

3 月理事会報告 於:Zoom 2022.3.2(水)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2021 年度重点活動方針
- 青森同友会3カ年ビジョン(2020～2022)

2)報告事項

- 青森同友会の各種全県事業と全国行事について
- 会合参加表彰制度について
- 全県委員長会議について
- 支部長会議について

3)審議事項

- 青森同友会の新型コロナへの対策について
- 東北 6 県青年部合同行事について
- 新春例会について
- 青森同友会第 25 回定時総会について
- 女性部会総会記念講演の周知について
- 年度会勢目標に向けての取り組みについて
- 各支部、委員会からの報告

入退会 会員数 398 名/入会 0 社 退会 0 社

4 月理事会報告 於:事務局 2022.4.4(月)

1)年度方針の確認

- 青森同友会2022 年度重点活動方針(案)
- 青森同友会 3 カ年ビジョン(2020～2022)

2)報告事項

- 青森同友会の各種全県事業と全国行事について
- 会合参加表彰制度について
- 全県委員長会議について
- 支部長会議について
- 第 19 期「経営指針を創る会」運営状況について

3)審議事項

- 青森同友会の新型コロナへの対策について
- 青森同友会第 25 回定時総会について
- 青森同友会 2022 年度全県行事について
- 年度会勢目標に向けての取り組みについて
- 各支部、委員会からの報告

入退会 会員数 398 名/入会 3 社 退会 3 社

【次回開催日】2022 年 5 月 11 日(水)13:30~/事務局会議室



4 月 21 日に青森同友会の第 25 回 定時総会が開催されました。

当日は参加申し込み 79 名、委任 158 名で総会の成立要件を満たして行われました。

総会では 2021 年度第 24 期の活動報告と決算報告、2022 年度第 25 期の活動方針と予算、役員提案が行われ、原案通り承認されました。

総会後には記念講演会も行われ、青森同友会の 2022 年度がスタートしました。

講演会の詳細については次回の委員会版「DOYU あおもり」でご紹介します。